

# 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和8年5月

学校法人 平山学園

## I 法人の概要

### 1. 基本情報

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 法人の名称     | 学校法人平山学園  |
| (2) 主たる事務所の住所 | 愛知県愛西市持中町八町88番地   |
| 電話番号          | 0567-28-3010  |
| FAX番号         | 0567-24-8510  |
| ホームページアドレス    | <a href="https://seirinkan.ed.jp">https://seirinkan.ed.jp</a> |

### 2. 建学の精神

本学園は建学の精神を「全校一大家族」と定め、「この世の全ての人を家族と考え、人のため、世のために奉仕できる人格の育成」を目指しています。

#### 【校是】

- 信仰（感謝） … 生かされている自分を実感する心
- 勤労（奉仕） … 利他に徹し奉仕する心
- 実際（真実） … 真実の生き方を見だし、実践する心

本校の教育目標は、自分の幸せのみならず、他の人の幸せも併せて追求するという、利他・奉仕の精神を持った豊かな人間性の育成と、将来社会で貢献するために必要とされる確かな学力を身につけ、生徒の希望する進路を実現させることにあります。

#### 【教育方針】

##### (1) 21世紀型教育

自らを考え、変化に立ち向かえる力を養います。

- ・清林館 GP/アクティブラーニング/探求活動/ICT の活用

##### (2) グローバル教育

生きた英語を学び、国際感覚を身につけます。

- ・海外交流プログラム/グローバル人材に求められる力の養成

##### (3) キャリア教育

どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るかを考えます。

- ・自己実現に向けて将来を意識した活動の実施

##### (4) 人間教育

他者とのコミュニケーションを通じて、自らの成長へとつなげます。

- ・建学の精神「全校一大家族」に基づいた人間教育

### 3. 学校法人の沿革

大正15年	津島裁縫女学校創立
昭和13年	校名を津島高等裁縫女学校と改称
昭和16年	校名を津島高等実科女学校と改称
昭和18年	校名を財団法人津島女子商業学校と改称
昭和23年	校名を学校法人平山学園津島女子高等学校（家政科、商業科、普通科）と改称
昭和50年	海外姉妹校提携（アメリカ2校）、海外研修旅行開始
昭和51年	海外姉妹校提携（ヨーロッパ3校）
昭和53年	海外姉妹校提携（オーストラリア3校）、短期留学生受け入れ開始
昭和59年	海外姉妹校提携（韓国、善一学園）
昭和60年	米サウスイースト・ミズーリ州立大学と提携、長期留学開始
昭和61年	普通科に国際コースを併設、語学研修開始
昭和62年	海外姉妹校提携（オーストラリア2校）
平成4年	特別姉妹校 South Queensland International College 開校 特別姉妹校 Hills Language College 開校 特別姉妹校 South Queensland Academy 開校
平成6年	海外姉妹校提携（台湾、静修女子高級中学）
平成13年	校名を清林館高等学校と改称 普通科に文理コース、医療看護福祉系進学コース、進学総合コースを併設 文理コース、国際コースI類を男女共学化 海外姉妹校提携（オーストラリア1校）
平成15年	普通科全コース男女共学化
平成16年	海外姉妹校提携（ニュージーランド1校、オーストラリア1校）
平成29年	普通科を文理特進コース、文理選抜コース、国際コース、進学総合コースの4コースに改編
平成30年	新校舎竣工（愛西市持中町八町88番地） 新校舎にて教育活動開始（4月1日）
令和元年	進学総合コース語学研修開始（フィリピン）
令和3年	椋山女学園大学と高大連携に関する協定を締結
令和4年	シティカレッジプリマス（イギリス）と提携
令和6年	体育館にエアコン設置 中学校棟を増築し、清林館中学校開校（4月1日）
令和7年	創立100周年記念式典挙行

#### 4. 設置する学校・課程・学科等

設置する学校	開校年月日	課程	学科
清林館高等学校	昭和23年4月1日	全日制課程	普通科
清林館中学校	令和6年4月1日	—	—

#### 5. 生徒数の状況

令和7年5月1日現在

学校名	学科	入学定員数	収容定員数	現員数
清林館高等学校	普通科	480人	1,440人	1,328人
清林館中学校	—	70人	210人	100人

#### 6. 役員の状況

定数 理事 6名、監事 2名

令和8年3月31日現在

区分	氏名	就任年月日	常勤/非常勤	摘要
理事長	梶村 繁夫	H19.4.1	常勤	
理事	有本 誠二	R1.6.1	常勤	業務執行理事・事務局長
理事	平山 哲明	S55.2.30	非常勤	学園長
理事	丸山 悟	H28.4.1	非常勤	学校法人理事長（外部）
理事	加藤 大典	R5.4.1	常勤	清林館中学校・高等学校長
理事	平山 慧悟	R7.5.29	常勤	経理課長
監事	橋本 香苗	R2.2.20	非常勤	株式会社監査役
監事	岡田 和幸	R2.4.1	非常勤	公益財団代表理事

##### (1) 責任限定契約

私立学校法に従い、令和2年4月1日より責任限定契約を締結している。

##### ・対象役員

非業務執行理事（平山哲明、丸山悟）、監事（橋本香苗、岡田和幸）

##### ・契約内容の概要

非業務執行理事及び監事がその職務を行うに当たり、善意でかつ重大な過失がないときは金1円と役員報酬の2年分とのいずれか高い額を責任限度額とする。

##### ・契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約内容に、役員がその職務を行うに当たり、善意でかつ重大な過失がないときに限る旨の定めがある。

##### (2) 役員の実任の免除

役員の実任の懈怠により生じた法人に対する賠償責任は、当該役員が善意でかつ重大な過失がない場合には、賠償責任を負う額から私立学校法に定める最低責任限度額までを理事会の議決によって免除できる。

## 7. 評議員の状況

定数 9名

令和8年3月31日現在

氏名	就任年月日	現職等
平山 哲了	R7.5.29	社会福祉法人元理事長
廣瀬 淳一	R2.4.1	社会福祉法人理事長
鷲野 聡明	R6.4.1	社会福祉法人評議員
成田 光善	H24.4.1	住職
安藤 悦子	H24.4.1	歯科医
村上 正代	H12.4.1	
宮崎 ひとみ	R6.4.1	社福協議会非常勤職員
川本 哲顕	R5.4.1	清林館高等学校教員
小林 正和	R7.5.29	清林館中学校教員

## 8. 理事選任機関の概要

本学園は評議員会を理事選任機関とする。

## 9. 教職員の概要

令和7年5月1日現在

### (1) 清林館高等学校

区分	専任	兼任	計
教諭・講師	85人	13人	98人
事務職員	8人		8人
嘱託職員		14人	14人
労務職員		4人	4人
校医		4人	4人
合計	93人	35人	128人

### (2) 清林館中学校

区分	専任	兼任	計
教諭・講師	10人	1人	11人
事務職員	1人		1人
嘱託職員		2人	2人
合計	11人	3人	14人

### (3) 法人

区分	専任	兼任	計
事務職員	1人		1人
産業医		1人	1人
合計	1人	1人	2人

(注) 兼務者は主たる所属にのみ計上

## II 事業の概要

### 1. 事業の概要

本学園では、令和2年度末に10年後を見据えて策定した中長期ビジョン“HOPE for 2030”に基づき各施策を推進して参りました。令和7年度には、計画期間の概ね半分が経過したことから、各施策の進捗状況を点検し、残りの5年間で重点的に解決すべき課題を再設定し、中期ビジョン 新“HOPE for 2030”を取り纏めました。

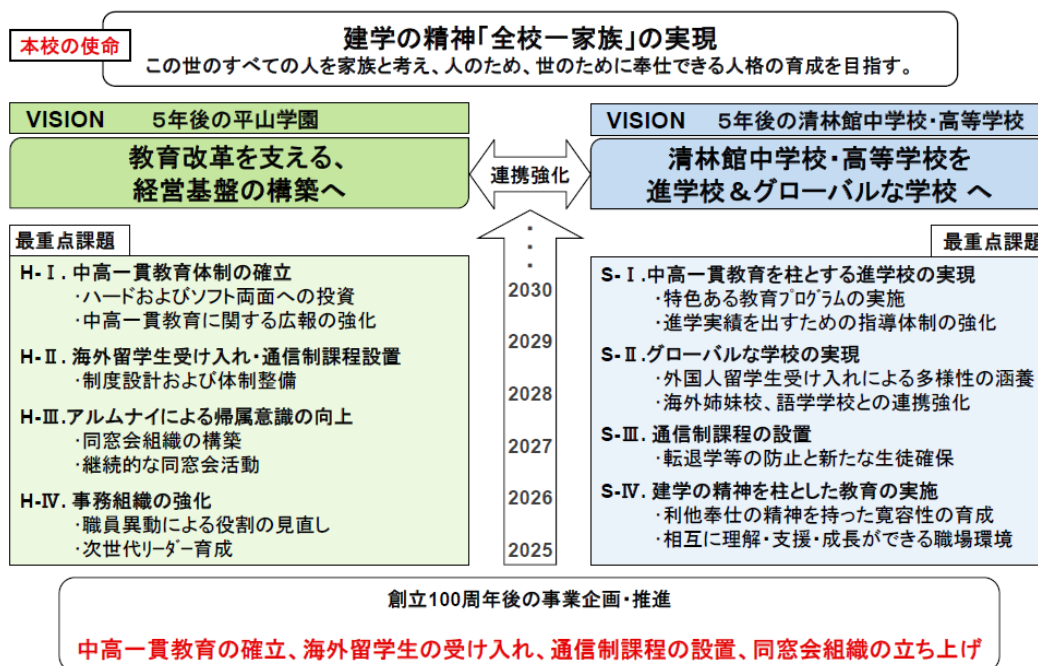
前年度までの長期ビジョンでは、特に少子化対策として中高一貫教育体制の確立を目指し、中学校を開校し、各種イベントや説明会を開催して生徒募集に注力しましたが、中高一貫教育の成果を出すには第1期生が卒業するまでの残り4年が必要であり、学則定員を確保するには至っておりません。また、東海地区トップクラスの進学校を目指して教育活動を行ってきましたが、こちらでも大きな成果を得るには更に時間が必要な状況です。これらの反省を踏まえ、中期ビジョン 新“HOPE for 2030”では、特に今後一層進む少子化への対策として、中高一貫教育で成果を出すことは勿論ですが、「海外留学生の受入」「通信制課程の設置」による生徒数の確保も合わせて、大きな柱として活動することと致しました。

## 平山学園 清林館中学校・高等学校 中期ビジョン 新“HOPE for 2030”

### Move to the NEXT STAGE

#### 平山学園 中期ビジョン “HOPE for 2030(2030年への希望)” 全体像

Hirayama Operational Plan for Excellence (HOPE = 希望)



(1) 中高一貫教育を柱とする進学校の実現について

ア. 清林館高等学校における大学合格実績

国立大学合格者目標45名以上（除く過年度卒業生、大学校）に対し37名  
難関私立大学合格者目標100名以上（同上）に対し63名

イ. 学習指導

学力向上の目標（学年・コース・教科別）に対し概ね2割程度の達成  
英検（学年・コース別の3級・準2級・2級）保有率目標に対し概ね3割程度の達成

いずれの目標についても、「進学校」「グローバルな学校」には必要な目標であり、引き続き目標に掲げて向上していきます。

(2) グローバルな学校の実現について

ア. 外国人留学生の受入

中国人留学生を受け入れている複数の高等学校の視察を行い、中国からの留学生派遣エージェントとのミーティングを実施しました。受入方針、受入体制、受入時期、授業料その他費用の設定、入学検定方法、日本語教育、カリキュラム、学校外での生活支援等について課題を整理し、内容を検討しています。

イ. 海外姉妹校、語学学校との連携

6月から8月にかけて、アメリカのホームステイプログラム、フィリピンの集中学習プログラム、イギリス・フィリピンの語学研修など、多くの高校生が英語力と国際理解の向上に向けて、短期の研修に参加しました。また、9月には31名の高校生が休学して1年間の長期留学に出発しました。姉妹校との短期交換留学も実施しました。

コロナ禍からの急激な需要回復と供給網の寸断、ロシアのウクライナ侵攻による資源価格高騰、更にはイランによるホルムズ海峡封鎖など、世界的な物価上昇と航空運賃の高騰、さらには安全性を考慮した航空便の減少など、海外渡航には厳しい環境にはあるものの引き続き新規プログラムの検討を継続しています。

(3) 通信制課程の設置

通信制課程を設置している学校法人の調査を行うと共に、所管部署の通信課程設置に対するスタンスの確認を行いました。また、具体的な受入方針や受入体制、教育内容の検討を行っています。

## 2. 法人本部の主な活動

(1) 理事会の開催

第1回理事会（令和7年5月20日開催）

【主な審議事項】

- ・令和6年度事業報告・決算について
- ・理事・評議員の一部交代について
- ・清林館高等学校兄弟姉妹奨学金の取扱について
- ・第1回（定時）評議員会開催について

第2回理事会 (令和7年10月21日開催)

【主な審議事項】

- ・令和7年度第2回評議員会開催について
- ・清林館中学校学則改訂について

第3回理事会 (令和7年10月30日開催)

【主な審議事項】

- ・令和7年度補正予算について

第4回理事会 (令和8年2月17日開催)

【主な審議事項】

- ・令和7年度第3回評議員会開催について
- ・清林館高等学校学則改訂について
- ・清林館中学校学則改訂について
- ・令和7年度退職金割増支給について
- ・令和8年度資金運用計画について

第5回理事会 (令和8年2月26日開催)

【主な審議事項】

- ・令和7年度補正予算について
- ・令和8年度事業計画・予算について
- ・役員及び評議員に対する報酬等の支給基準および支給額について

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会 (令和7年5月29日開催)

【主な審議事項】

- ・令和6年度計算書類及び事業報告書に対する意見聴取について
- ・理事1名選任について
- ・評議員2名選任について

第2回評議員会 (令和7年10月30日開催)

【主な審議事項】

- ・令和7年度補正予算について

第3回評議員会 (令和8年2月26日開催)

【主な審議事項】

- ・令和7年度予算補正に関する意見聴取について
- ・令和8年度予算及び事業計画に関する意見聴取について
- ・役員及び評議員に対する報酬等の支給基準に関する意見聴取について

(3) 監査の状況

公認会計士監査 3回  
法人監事監査 3回

### 3. 清林館高等学校の主な活動

4月 1日	長期留学（姉妹校（台湾）及び私費）派遣
4月 4日	入学式
4月 8日	1学期始業式
4月11日	避難訓練
6月 4日	体育祭（バンテリンドーム）
6月 6日	創立100周年記念式典
6月 8日	1年生国際コースホームステイプログラム（アメリカ、～7月6日）
6月10日	1年生国際コース集中学習プログラム（フィリピン、～7月26日）
7月 3日	2年生語学研修（イギリス、～7月28日）
7月 8日	1年生文理・進学総合コース語学研修（フィリピン、～8月9日）
7月11日	創立100周年記念講演
7月18日	1学期終業式
7月18日	姉妹校短期交換留学（オーストラリア、～8月24日）
9月 1日	長期留学（姉妹校（アメリカ）及び私費）派遣
9月 1日	2学期始業式
9月 5日	清林祭（～6日）
9月26日	校内弁論大会
10月28日	人権講演
11月 6日	感謝の会
12月 6日	姉妹校（PLC）短期留学生受入れ（～1月4日）
12月19日	2学期終業式
12月24日	後援会国祭部会行事（短期受入留学生研修）
1月 7日	3学期始業式
1月14日	入試（推薦選抜・特色選抜）
1月22日	入試（一般選抜）
3月 2日	卒業証書授与式
3月 3日	2年生修学旅行（～6日）
3月17日	球技大会（～18日）
3月19日	3学期終業式

### 4. 清林館中学校の主な活動

4月 4日	入学式
4月 8日	1学期始業式
4月11日	避難訓練
5月10日	遠足（名古屋城）
6月 4日	体育祭（バンテリンドーム）
6月 6日	創立100周年記念式典
7月 2日	乗鞍研修（～4日）
7月11日	創立100周年記念講演
7月18日	1学期終業式

7月23日	職業体験（～25日）
9月1日	2学期始業式
9月5日	清林祭（～6日）
9月20日	ユニセフ講演
9月26日	校内弁論大会
10月28日	人権講演
11月6日	感謝の会
11月8日	遠足（津島神社周辺）
12月3日	校外研修（東山動物園・JICA、劇団四季）
12月13日	百人一首かるた大会
12月19日	2学期終業式
1月6日	入試（適性検査型・専願・一般Ⅰ）
1月7日	3学期始業式、書き初め大会
1月10日	入試（一般Ⅱ）
2月7日	探究発表会
3月19日	3学期終業式

## 5. 生徒募集関係

	【清林館高等学校】	【清林館中学校】
4月19日	第1回国際コース説明会	
5月24日	第1回オープンスクール	第1回中学校説明会
6月21日	第2回オープンスクール	第2回中学校説明会
7月26日		私立中学フェア（～27日）
8月9日	第2回国際コース説明会	
8月21日	中学校対象入試説明会	
8月22日	愛知の私立学校展（～23日）	
8月23日	第1回体験入学会（～24日）	第1回体験入学会
9月11日	塾対象入試説明会	
9月27日	第2回体験入学会	第3回中学校説明会
10月18日	清林館フェスタ【学校説明会】（～19日、場所：桑名、津島）	
11月1日	第1回入試説明会	第1回入試問題チャレンジ
11月22日	第2回入試説明会	第2回入試問題チャレンジ

上記の他、中学校の募集活動では「なつやすみ実験まつり」「ゆうがたトーク」など小規模な活動を反復して実施すると共に、塾等の外部機関が主催する説明会にも参加しています。

また、高等学校の募集活動でも外部機関が主催する説明会への参加や、中学校での進路説明会などに参加しています。

### Ⅲ 財務の概要

令和7年度の資金収支計算書（表1）の概要は次の通りです。

収入合計は3,298百万円となり、予算比では下記表の通りです。繰越金を除くと1,408百万円で、前年度から227百万円減少しています。主な増減は、学生生徒等納付金+18百万円、補助金+22百万円、受取利息+5百万円、前受金収入+22百万円と増加したものの、その他収入が▲255百万円（うち施設設備整備費補助金▲190百万円、体育館空調補助金▲36百万円）と大幅に減少したためです。

支出についても、予算比では下記表の通りです。繰越金を除くと1,574百万円で、前年度から240百万円増加しています。主な増減は、人件費+126百万円（うち教員人件費+93百万円、職員人件費+8百万円、退職金+27百万円）です。中学校が2クラス増加したことやベースアップを実施したことが要因です。施設関係・説部関係費が合わせて+38百万円ですが、ICT環境整備が要因です。その他金利環境の変化に伴い満期保有目的で債券投資を400百万円実施しています。

この結果、翌年度繰越金は1,725百万円で前年度比▲165百万円となりました。

（表1）資金収支計算書

（単位：千円）

科 目	予 算①	決 算②	差異①－②
学生生徒等納付金収入	641,262	650,892	▲9,631
手数料収入	29,422	29,483	▲61
寄付金収入	3,500	2,865	635
補助金収入	636,363	625,199	11,163
資産売却収入	0	0	0
受取利息・配当金収入	4,500	5,203	▲703
雑収入	24,918	25,857	▲939
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	193,710	252,535	▲58,825
その他の収入	23,110	76,054	▲52,944
資金収入調整勘定	▲262,146	▲259,682	▲2,464
前年度繰越支払資金	1,890,327	1,890,327	0
収入の部合計	3,184,966	3,298,732	▲113,766

科 目	予 算①	決 算②	差異①－②
人件費支出	867,926	859,995	7,932
教育研究経費支出	279,715	178,946	100,769
借入金等利息支出	4,800	4,800	0
借入金等返済支出	66,660	66,660	0
施設関係支出	38,150	23,650	14,501
設備関係支出	53,660	22,637	31,024
資産運用支出	500,000	400,000	100,000
その他の支出	56,019	61,782	▲5,763
予備費	35,000	0	35,000
資金支出調整勘定	▲39,516	▲44,870	5,354
次年度繰越支払資金	1,322,552	1,725,134	▲402,582
支出の部合計	3,184,966	3,298,732	▲113,766

事業活動収支は表2の通りです。教育活動収支差額は+171百万円（前年度比▲97百万円）、経常収支差額は+173百万円（前年度比▲92百万円）となっています。退職給与引当金や賞与引当金の特別繰入72百万円、基本金組入113百万円を実施して、基本金組入後の収支差額は▲13百万円のマイナスとなりました。

(表2)事業活動収支計算書

(単位:千円)

科 目	予 算①	決 算②	差異①-②
学生生徒等納付金	641,262	650,892	▲9,631
手数料	29,422	29,483	▲61
寄付金	3,984	3,349	635
補助金	635,564	624,400	11,163
雑収入	24,918	25,857	▲939
教育活動収入計	1,335,150	1,333,981	1,169
人件費支出	873,174	865,243	7,932
教育研究経費支出	405,815	297,367	108,448
徴収不能金	0	0	0
教育活動支出計	1,278,989	1,162,610	116,379
教育活動収支差額	56,161	171,371	▲115,211
施設整備費補助金	799	799	0
受取利息・配当金	4,500	5,203	▲703
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	5,299	6,002	▲703
借入金等利息	4,800	4,800	0
その他の教育外活動支出	0	0	0
教育活動外支出計	4,800	4,800	0
教育活動外収支差額	500	1,202	▲703
経常収支差額	56,660	172,573	▲115,913
資産売却差額	0	0	0
その他特別収入	0	0	0
特別収入計	0	0	0
資産処分差額	0	0	0
退職給与引当金特別繰入額	32,753	32,753	0
賞与引当金特別繰入額	38,919	38,919	0
その他特別損失	0	0	0
特別支出計	71,672	71,672	0
特別収支差額	▲71,672	▲71,672	0
予備費	35,000	0	35,000
基本金組入前当年度収支差額	▲50,011	100,902	▲150,913
基本金組入額合計	▲158,470	▲113,430	▲45,040
当年度収支差額	▲208,481	▲12,528	▲195,953
前年度繰越収支差額	2,463,792	2,463,792	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	2,255,311	2,451,264	▲195,953
事業活動収入	1,340,449	1,339,983	466
事業活動支出	1,390,460	1,239,081	151,379

令和7年度末の貸借対照表（表3）の概要は、次の通りです。

資産総額は、8,823百万円で、前期比197百万円増加しました。主なものは、建物構築物が▲44百万円、機器備品が▲22百万円、100周年特定資産▲14百万円、修繕積立金特定資産+20百万円、有価証券が+400百万円、現預金が▲194百万円、未収入金が+23百万円です。

負債総額は、1,260百万円で前期比+97百万円増加しました。借入金返済▲67百万円の方、退職給与引当金と賞与引当金が+77百万円、共同積立金・生徒会・後援会等の預り金が+49百万円となっています。

基本金は5,112百万円と前期比113百万円増加しました。

（表3）貸借対照表

（単位：千円）

	令和8年3月末	令和7年3月末	前期末比増減
固定資産	7,065,052	6,727,085	337,968
流動資産	1,757,771	1,898,293	▲140,522
資産の部合計	8,822,823	8,625,378	197,446
固定負債	699,353	733,260	▲33,908
流動負債	560,368	429,916	130,451
負債の部合計	1,259,720	1,163,176	96,544
第1号基本金	5,046,839	4,933,409	113,430
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	65,000	65,000	0
基本金の部合計	5,111,839	4,998,409	113,430
翌年度繰越収支差額	2,451,264	2,463,792	▲12,528
純資産の部合計	7,563,103	7,462,201	100,902
負債及び純資産の部合計	8,822,823	8,625,378	197,445

人件費比率（対教育活動収入）		64.9%
教育研究経費比率（対教育活動収入）		22.3%
主な有形固定資産	土地	1,635,691千円
	建物	2,669,242千円
	構築物	348,448千円
	機器備品	225,697千円
借入金	日本私立学校振興・共済事業団	733,260千円

附属明細書 該当なし